

ともしび

第029号
発行
両毛病院
編集 広報委員会

院長通信

平成22年度参議院選挙では民主党の大敗という結果になり、いわゆる「ねじれ国会」ということになりました。菅首相は、自民党政権最後の3首相と同じように、かなりの産みの苦しみを味わうことになるのではないのでしょうか。しかし現首相は自民党の元首相たちと比べてかなり図々しいところがありそうです。民主党総会で9月の代表戦までは現体制を続けると表明し、なんとか認めさせてしまいました。予算委員会審議でも野党が反対できないような法案だけを持ち出しているようです。これでは国の将来の方向性を議論する余裕などなさそうです。国の将来について坂本龍馬のような政治家はもう出てこないのでしょうか。消費税増税を真剣に考え、思いつきではない政策をきっちり作ってもらいたいものです。

ワールドカップサッカーの日本代表の戦いには感動しました。今回の戦いでディフェンスの大切さが改めて見直されたと思います。本線前にはフォワードとディフェンスの意思疎通がほとんどできていなかったそうです。そこで

キャプテン川口選手が緊急ミーティングを招集し、選手それぞれが本音を出し合ったことからお互いを信頼しあえるようになり、あのような素晴らしいディフェンスにつながったようです。ワールドカップは4年に1度チームを招集するので、選手の意思疎通は余計難しいと思います。われわれはほとんど1年中チームを組んでいるわけですのでお互いの意思疎通はできていると思いますが、ワールドカップサッカーチームに負けないチーム医療を再確認していきましょう。

ある患者さんの言葉です。「1人の看護師さんがある患者さんに対してちよつと強い口調で話しかけているのを見て、お互いに慣れているのだからうけど自分にもあのように話しかけられたら怖いなと思ったことがある。」われわれはつい慣れている患者さんと話すとき丁寧でない言葉になることがあります。自分ではそれを違和感なく使っていますが、まわりで見ている患者さんや家族によっては不快感を感じる人がいます。時と場所をわきまえた対応に常に気をつけたいものです。

第319号 院長 秋山 一郎

広汎性発達障害って どんな障害？

はじめまして、両毛病院で精神科医をしております中村です。今回は両毛病院にて児童・思春期・発達障害専門外来を開設して2年余りになりますので、最近の児童思春期の子どもの問題、特に広汎性発達障害を中心に話したいと思います。

子どもたちの精神科領域の病気としては、不登校、適応障害、チック、夜尿症、広汎性発達障害、注意欠陥多動性障害、摂食障害、自我同一性障害、などがあり、挙げればきりがありません。子どもたちの病気は、脳が発達の途中にあること、大人になるといふ心理発達の過程の途中にいること、家庭など周囲の環境からの影響を受けやすいことなどから、とても診断や治療が難しいです。逆に言うところから成長していく過程にある子どもたちと触れ合い、成長を見守ることができるので、子どもを診る精神科医はとてもやりがいのある仕事でもあります。両毛病院の当外来にもこういった精神的な問題を抱えたお子さんたちが通ってきていらっしゃいます。

こうしたさまざまな精神科の子どもの病気の中で近年注目されてきているのが、広汎性発達障害です。みなさんも最近よく耳にすると思いますが、昔は自閉症と言われていた病気で、アスペルガー障害もここに含まれます。病気の症状としましては、社会性の障害（人とうまく関わる事が出来ない）、コミュニケーションの障害（相手の言葉を言葉通りに受け取る、冗談が通じない

いなど）、想像力の障害（先を考えて行動出来ない、相手の立場に立つて考えることができないなど）などがあります。中にはこだわりがあるお子さんもいます。こういった障害は、患者さんそれぞれに色の濃さがあり、障害の程度もさまざまです。これは患者さんに限ったことではなく、一般の人にも同じことが言えます。みなさんのまわりにも、ちよつと変わった人、ちよつと空気が読めない人、ちよつと話が通じにくい人がいるかと思えます。そしてみなさんの自分自身の胸に手を当ててよく考えてみてください。少なからず自分にも当てはまるところがあると思いがたはらずです。でもみなさんはおそらく障害なく生活できている（？）ので、それは障害とは呼びません。こういった考え方をスペクトラム障害と言います。つまり自閉症の傾向が、とても薄い人から濃い人までいるということになり、その中で濃い人たちが社会生活上障害があると障害ということになります。したがってみなさんの延長線上に障害を持つ人がいるということを感じておいていただくと、ちよつと発達障害に対する見方も変わるかと思えます。発達障害とはそういう病気で、ですので、そういった人たちがうまく適応できるように成熟した社会がやってくるとよいと願っています。話が少々膨らみすぎましたが、子どもの心と脳の問題について、機会があればまたお話できればと思っております。

医師 中村 晃士

秋山川河川敷花見に参加して

最近では病院の行事として、院外の散歩が患者さんの高齢化等の理由でめっきり減りましたが、その中で現在も残っているのが、秋山川河川敷の散歩をかねた花見があります。

今年も天候に恵まれ4月6日に行われました。足腰の弱い人は公用車での送り迎えでしたが、約半数以上の人が往復歩いて行きました。花見といえは「だんご」というイメージがあります。今年はお茶とお菓子で患者さんの中には「やっぱり花見は「だんご」がつきものだよ」と言う意見もありました。桜の満開の中での、だんご以外のものを食べるのも、「いいもんだよ」という意見もありました。河川敷では桜の花に誘われ、ワールドカップにも負けないサッカーボールでのパス回しや、昔なつかしいフラフープを童心にかえって行う人が多くみられ、普段病棟では見られない、活動的な患者さんの姿がみられました。又、4月1日より常勤として勤務されることになった秋山佳子先生も参加され、患者さんの輪の中に入って楽しく交流されました。

看護師

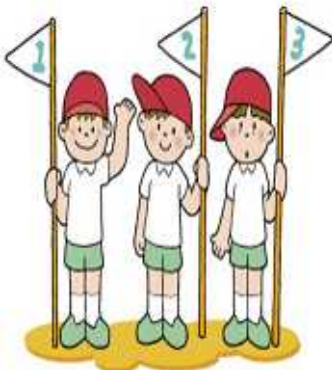


笑顔溢れたレク大会

6月14日午後2時より、雨天の為3階作業療法室内において、レクリエーション大会が行われました。

内容として初めに準備体操後、職員が車椅子を押し走りゴール前にぶら下がっている封筒を選びその中に順位が書かれているという競技、パン食い競争では、取ったパンをもらえらるとあって、たくさんの方が参加されました。普段おとなしい人も、この時ばかりは大きな口を開け、ゴールを目指して走っていました。ボール運びリレーでは、2人組みになり台に乗せた不安定なボールを落とさず走るといふ簡単そうで実は互いの息が合わないとすぐ落としてしまうという競技。この競技では、職員も参加して大いに盛り上がりました。最後の締め括りとして、丸く円を囲み、全員でフォークダンスを踊りました。室内での限られた広さでしたが、たくさんの方が参加され、笑いの絶えない楽しい時間を過ごす事ができたと思います。来年は、外で盛り上げられる事を願います。

アシスタントナース



霧が降るから霧降高原

6月10日、デイケアでは日光霧降へ一泊旅行に出掛けました。当日は6月としては珍しく好天に恵まれました。マイクロボスで田沼ICから西那須野へ向かい、千本松牧場で早めの昼食をとりました。その後、竜王峡まで足を伸ばしバスを降りて散策をしました。眼下に見える新緑を湛えた渓谷は紅葉時期とはまた違った趣がありました。

ホテルに着いてからは旅の汗を流すために温泉に入りました。食事は夕食と朝食がバイキング形式でした。時間ぎりぎりまで職員やボランティアの方と会話をすることが出来ました。夕食の後はカラオケに行ったり温泉に入ったりして、部屋ではこの日がちょうど二〇一〇FIFAワールドカップ開幕の前夜だったという事もありその話題で大いに盛り上がりました。

翌日、日帰りドライブの方達と合流するため、霧降高原を通って大笹牧場へ向かいました。霧降といわれるだけあり周囲は霧が立ち籠めていました。霧の高原というのも、まるで異世界を思わせるようで悪くないと思います。

大笹牧場で日帰りドライブの方達と合流した後には昼食をとり帰路につきました。今回初めて一泊旅行に参加して色々な意味で良い経験になりました。

デイケアメンバー



両毛病院 家族会

両毛病院家族会は、昭和47年頃より旧両毛病院父兄会として発足し、平成8年1月に名称を「家族会」と改名し活動してきました。現在は入院患者さんや外来患者さんの社会復帰を目的として

患者さんの病気等の理解

治療及び病棟生活の理解

患者さんと御家族の交流の場

御家族同士が支え合う場

地域の精神保健福祉活動への御理解や参加の場

加の場

として、勉強会、日帰りドライブ、院内文化祭、新年会等を行っています。

御家族の方が「病気についてもっと知りたい」「家族としてどの様に付き合ったらよいのか?」「退院した後、どの様に過ごしたらよいのか?」など疑問や不安に思っていることを一緒に考えて、解決のお手伝いができればと思っています。また同じ悩みを抱え合う御家族の方々が悩みを共有し合う場合としても御利用して頂ければと思っています。

次回の家族会は、『日帰りドライブ』

日時 平成22年9月18日(土)

場所 黒羽温泉 「五峰の湯」

皆様の参加をお待ちしています。

家族会委員会

【新入職員紹介】

平成22年4月1日より常勤となりました

秋山 佳子先生(医師)をご紹介します。

趣味・特技

映画鑑賞、舞台鑑賞、音楽鑑賞。

そろそろゴルフも始めようかな。

自己PR

精神医療については不勉強な部分が多いので、色々教えて下さい。

入職後の感想

活気と責任感があって働きやすいです。

はやく慣れるよう頑張りますので、よろしく

お願いします。

【第27回両毛病院文化祭開催のお知らせ】

日時：10月24日(日) 午前10時から午後3時

(雨天決行)

会場：両毛病院(佐野市堀米町1648)

野外ステージでは、地域のボランティアの皆様、市内の学生さん、園児の皆様の出し物が催されます。その他にも各種模擬店やお遊びコーナー(フリสบィー、たぐり寄せ、缶当て、パチンコ)、手芸品展示販売、無料綿あめ、手相占い、健康相談等々の催し物が企画されています。

また、10月23日(土)午後2時~3時30分、外部

講師を招き講演会を予定しておりますので、たく

さんの皆様のご来場をお待ちしております。

詳細につきましては当院までお問い合わせ下さい。

3月 2月 1月 12月 11月 10月 9月

ひな祭り



節分豆まき



患者さん新年会



クリスマス演奏会



高齢者ドライブ



両毛文化祭



ソフトバレー大会



平成二十二年度

主な行事予定



【外来診療のご案内】

診療科目 精神科・内科
 受付時間 午前 8:45 ~ 11:30
 診療時間 午前 9:00 ~ 12:30
 (専門外来 毎週水曜日 午後 2:00 ~)

* 外来診療(初診を含む)は、予約制になっておりますので、事前にご予約をお願い致します。

《精神科》

* 外来診療 月~金・土曜日(土曜日の診療は基本的に第3土曜日のみとなります。ただし、祝祭日が重なる場合は変更になります。)

外来担当医師表

	予 約 再 診	予 約 再 診	当 日 受 付
月	秋山 一郎	秋山 伸恵	石川 高明
火	秋山 一郎	山本 卓二	秋山 伸恵
水	中村 晃士	秋山 伸恵	石川 高明
木	高山 晃司	杉原 亮太	山本 卓二
金	秋山 一郎	秋山 伸恵	高山 晃司
土	石川 高明		石川 高明

児童・思春期・発達障害専門外来
 平成20年4月より毎週水曜日の午後行っています。
 18歳未満で下記のようなお子さんが対象になります。
 情緒不安定・不登校・問題行動がある・幼稚園、保育園、小学校などで発達障害を指摘されたなど、診察を希望される方は、電話にてお問い合わせ下さい。

《内科》

* 外来診察 月~水曜日・金曜日(木曜日は休診となります。)

月~水・金	秋山 佳子
-------	-------

* 平成22年4月より内科診療が開設となりました。

【交通のご案内】

- * 自動車でお越しの方
 佐野田沼IC(北関東自動車道)より5分
 佐野藤岡IC(東北自動車道)より15分
- * 電車でお越しの方
 佐野駅(JR・東武)よりタクシーで5分
 堀米駅(東武)より徒歩7分

【編集後記】

職員の誕生をお祝いする記事について、個人情報保護法などの観点から見直され、今号から掲載されなくなりました。広報委員会では、試行錯誤を重ねながらも、時代に即した紙面作りに取り組み今後も皆様に未永く親しんでいただける広報誌を編集していきたいと思ひます。

医療法人 秋山会
R 両毛病院

〒327-0843 栃木県佐野市堀米町1648
 TEL 0283-22-6150
 ホームページアドレス <http://www.ryoumoubyouin.jp/>

